

担当センター名		北海道地方ESD活動支援センター
プロジェクトのテーマ		気候変動教育の確立・普及に向けた情報共有・対話の促進
プロジェクト期間		6月～3月
達成目標		社会の各分野で気候危機に対処し（緩和・適応）を实践・貢献する人材を増やしていくための教育活動が、学校教育・社会教育のそれぞれの場で定着すること。
コアメンバー(団体・個人)		立教大学 高橋 敬子氏 一般社団法人あきた地球環境会議 福岡 真理子氏 NPO法人アースライフネットワーク 服部 乃利子氏 NPO法人京都地球温暖化防止府民会議 木原 浩貴氏 中部大学中部高等学術研究所 原 理史氏 公益社団法人日本環境教育フォーラム 加藤 超大氏 一般社団法人地球温暖化防止全国ネット 秋元 智子氏、井原 妙氏 アルマス・バイオコスモス研究所 水上 聡子氏 北海道地方ESD活動支援センター
実施内容	勉強会①	「地域におけるこれからの気候変動教育を考える」 [実施日] 2021年7月14日（水） 13:30～15:00 Zoomによるオンライン開催 [参加者数] 91名 [参加者属性] NPO/NGO、大学教員、学校教員、学生、企業・事業者、公益団体、地方自治体 [講師] 高橋敬子さん（立教大学社会学部/E S D 研究所） [内容] ・気候変動教育とは何か、日本における気候変動教育の状況および海外の学校・社会教育の展開と地域人材の育成事例について ・日本でのプログラム開発、地域でできるこれからの気候変動教育
	勉強会②	「気候変動教育のエッセンス～国際的に見た日本の課題」 [実施日] 2021年7月26日（月） 16:00～17:30 Zoomによるオンライン開催 [参加者数] 98名（参加した地域ESD拠点：VISIONARY INSTITUTE） [参加者属性] NPO/NGO、大学教員、学校教員、学生、企業・事業者、公益団体、社会教育機関、地方自治体 [講師] 永田佳之さん（聖心女子大学現代教養学部教授） [内容] ・気候変動教育の国際的な系譜、世界の気候変動教育 ・気候変動教育の課題 ・気候非常事態宣言自治体の教育に関する全国調査
	勉強会③	「『気候変動の地元学』による共学と共創」 [実施日] 2021年9月7日（火） 16:00～17:30 Zoomによるオンライン開催 [参加者数] 69名（参加した地域ESD拠点：旭川NPOサポートセンター、NPO法人エコプランふくい） [参加者属性] NPO/NGO、大学教員、学生、企業・事業者、公益団体、社会教育機関、地方自治体 [講師] 白井信雄さん（山陽学園大学地域マネジメント学部） [内容] ・「気候変動の地元学」とは ・気候変動の影響に関する認知・行動構造の分析 ・全国各地での「気候変動の地元学」、岡山県内での実践から「気候変動の地元学」を広げる活動について
	勉強会④	「学校向けプログラム開発と実証」 [実施日] 2021年9月29日（水） 16:00～17:30 Zoomによるオンライン開催 [参加者数] 70名（参加した地域ESD拠点：旭川NPOサポートセンター、藤岡市ボランティアネットワークセンター ウィズ、NPO法人エコプランふくい） [参加者属性] NPO/NGO、大学教員、学校教員、学生、企業・事業者、公益団体、社会教育機関、地方自治体 [講師] 水上聡子さん（アルマス・バイオコスモス研究所代表） 福岡真理子さん（一般社団法人あきた地球環境会議理事・事務局長） [内容] ・シティズンシップ（市民性）教育と内発的動機づけの要素 ・福井県版ミステリー&ジグソー法課題解決ワークショップ ・秋田商業高校における気候変動教育と主権者教育の事例報告
	勉強会⑤	「学校教育とNPOの連携による学習の仕組みづくり」 [実施日] 2021年10月21日（木） 16:00～17:30 Zoomによるオンライン開催 [参加者数] 54名（参加した地域ESD拠点：公益財団法人岡山県環境保全事業団 環境学習センター「アスエコ」） [参加者属性] NPO/NGO、大学教員、学校教員、公益団体 [講師] 豊田陽介さん（NPO法人気候ネットワーク上席研究員） 服部乃利子さん（NPO法人アースライフネットワーク専務理事） [内容] ・京都市立の全小中学校で実施しているプログラムの事例報告 ・家庭・地域での意識・行動の変容、人材養成の場づくりと活動の場の提供、他地域への波及・展開 ・静岡県内全508校中245校で展開しているプログラムの事例報告 ・小学校・県温暖化防止センター・地域・企業・メディア・市町・県による協働事業について

	実践活動	一般社団法人あきた地球環境会議と秋田商業高校の協力を得て、気候変動とシチズンシップ教育授業を関係者による見学を予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため次年度に向けた動画記録に切り替えることとした
成果	目標達成度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎度50人以上の参加があったことから、気候変動教育に関する一定の関心があることが明らかになり、多くの人に気候変動教育の事例を伝えることができた</li> <li>・満足度が全回90～100%だったため、全国の実践者・関係者への発信・情報共有に関して一定の役割を果たすことができた</li> </ul>
	プロジェクト関係者(コアメンバー、その他の参加者、実践活動の対象者)の変容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地から新たな勉強会の要請、実践の要望があり波及効果があった。</li> </ul>
今後の課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育現場（特に参加の少なかった学校教育）への発信を行う必要がある</li> <li>・北海道内の教育関係者に対する関心喚起が必要</li> <li>・関心のある人が多いということが明らかになったので、これを踏まえ今後の気候変動教育勉強会の展開について、どのように行っていくかなど仕組みづくりを含め戦略が求められる</li> </ul>